

センター試験の指定受験会場が本校生の動揺を誘っている件の記者会見実施について

【長野予備学校（長野市北石堂町1022 TEL026-226-1774 関哲夫校長）】1月19日・20日に実施されるセンター試験の受験会場について、多数の本校生が、長野市に現住所がありながら松本市の試験会場を指定されるという、受験生の動揺を誘う事態が発生しています。本校はこの事態を重大に受け止め、大学入試センターに強く改善を求めていく予定です。

この件に関し、次の通り記者会見を開き状況をご説明します。

■記者会見 日時・場所

日時／12月17日(月) 14:00より

場所／県庁3F 会見場

■問題の経緯・概要

12月12日に大学入試センターから届いたセンター試験の受験票を確認したところ、北信地区在住でありながら「信州大学 松本旭町キャンパス」を試験会場と指定された本校生が多数います。14日現在、確認されただけで40名おり、さらに増えるものと考えられます。40名の中には、長野予備学校男子寮・啓明館に在館する学生が7名おり、親元を離れ、費用をかけ寮生活を送っている受験生に対し、さらに遠方の試験会場を指定することは、少なからず受験生の動揺を誘うもので本校として由々しき問題と考えています。

試験会場は現住所から指定されるとなっているが、他の館生が工学部に指定されているのに対し、松本に指定された7名は出身が新潟上越地区や須坂高校卒という理由で区別されたと推測しています。

例年、本校生は「信州大学 教育学部・工学部」を試験会場として指定されており、北信地区では他に清泉女学院大学、長野県短期大学があります。

本校が主な高校に聞いた限りでは、現役である高3生は、高校により受験者全員が教育学部あるいは工学部に指定されており、高卒生が遠方の試験場にはじかれたと推測しています。少なくないとはいえ、この程度の人数ならば北信地区の会場に収容することが可能だったのではないかと。せめて信州大学繊維学部や長野大学などの上田地区会場での選択はなかったのだろうか。

受験案内には「指定された受験会場以外ではいかなる理由があっても受験はできない」とあり、すでに松本での2連泊を考え、予約に動いている生徒もいます。

●この件に関するお問い合わせ先

長野予備学校 原田・金井

TEL026-226-1774 n-kanai@shingakukai.org



shingakukai.or.jp